

令和3年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（施設勘定）の概要

1. 予算規模

令和3年度当初予算額	84,000千円
令和2年度当初予算額	83,000千円
比 較	1,000千円（1.2%増）

令和2年に流行した新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）は、令和3年度においても流行し続けると見込み、その影響を加味した予算編成となっている。

歳入は、診療所でのクラスター発生回避のための人数制限や、外出自粛・マスクや手洗い習慣の浸透によるコロナ以外の感染症患者などの受診率の低下を見込み、それに伴って診療収入も減少すると見込んだ。なお、不足する財源は、財政調整基金繰入金を充てて予算編成した。

歳出は、コロナ流行下でも安定した医療を提供するため、人件費やシステム整備費の増加を見込んだ。増加の主な理由は、看護師の確保や待遇改善を図ること、及びマイナンバーを利用した保険証資格確認システムを導入することである。

なお、令和3年度は患者数を5,529人、一人当たりの診療収入を11,004円と見込んでいる。

2. 歳 入

- （1）診療収入は、60,846千円で、対前年度△10,297千円、14.5%の減を見込んだ。
内訳は、外来収入に55,508千円、その他の診療収入に5,338千円を計上した。
- （2）使用料及び手数料は、59千円、財産収入は、21千円を計上した。
- （3）繰入金は、21,400千円で、対前年度12,000千円、127.7%の増を見込んだ。
内訳は、一般会計繰入金に7,100千円、事業勘定繰入金に300千円、財政調整基金繰入金に14,000千円を計上した。
- （4）繰越金は、令和2年度決算見込から1,154千円を計上した。
- （5）諸収入は、介護保険意見書料等で520千円を計上した。

3. 歳 出

- （1）総務費は、49,721千円で、対前年度3,314千円、7.1%の増を見込んだ。
内訳は、診療所関係職員給与費に34,815千円、診療所総務事務費に13,245千円、診療所施設管理費に1,519千円、研究研修費に142千円を計上した。
- （2）医業費は、32,257千円で、対前年度△2,314千円、6.7%の減を見込んだ。
内訳は、医療用機械器具費に1,536千円、医療用消耗器材費に721千円、医薬品衛生材料費に30,000千円を計上した。
- （3）その他の支出は、基金積立金に20千円、公債費及び諸支出金にそれぞれ1千円、予備費に2,000千円を計上した。

令和3年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算(施設勘定)

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 診 療 収 入	60,846	72.4 %	71,143	85.7 %	△ 10,297	△ 14.5 %
2 使用料及び手数料	59	0.1 %	136	0.2 %	△ 77	△ 56.6 %
3 財 産 収 入	21	0.0 %	21	0.0 %	0	0.0 %
4 繰 入 金	21,400	25.5 %	9,400	11.3 %	12,000	127.7 %
5 繰 越 金	1,154	1.4 %	1,968	2.4 %	△ 814	△ 41.4 %
6 諸 収 入	520	0.6 %	332	0.4 %	188	56.6 %
合 計	84,000	100.0 %	83,000	100.0 %	1,000	1.2 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 総 務 費	49,721	59.2 %	46,407	55.9 %	3,314	7.1 %
2 医 業 費	32,257	38.4 %	34,571	41.7 %	△ 2,314	△ 6.7 %
3 基 金 積 立 金	20	0.0 %	20	0.0 %	0	0.0 %
4 公 債 費	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
5 諸 支 出 金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
6 予 備 費	2,000	2.4 %	2,000	2.4 %	0	0.0 %
合 計	84,000	100.0 %	83,000	100.0 %	1,000	1.2 %